

萌

も え る

summer, 2018

NISHI YOKOHAMA INTERNATIONAL HOSPITAL



医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院



INFORMATION

新任医師・執行部紹介
部署紹介

VOL.56

ご自由にお持ち帰り下さい。

平成30年度のご挨拶

西横浜国際総合病院 院長

小松 永二

世界では朝鮮半島問題、中東問題など大きな動きが見られます。一方わが国では世界で類を見ない高齢化が進み、2025年問題に対応するためこの春に診療報酬改定が行われました。当院は「安心・安全の医療～患者様と共に～」を理念に掲げ、健診、急性期から回復期、在宅までのシームレスな医療を提供できる体制を作り上げ、この街の地域包括ケア構想、安心して住める街づくりに貢献してまいりましたが、今回の改定はその方向性を後押しする内容となっております。

当院は多彩な医療機能を有しておりますが、その基本的な機能は急性期医療です。より高度かつ良質な医療を提供するため、この5月には新規MRI装置を導入いたしました。また各種検査機器、手術用具など最新の機材を導入しております。診療体制では、内科に幡中医師、眼科に伊藤医師、整形外科に鈴木医師が着任いたしました。さらに近々に1～2名の増員を予定しております。当院の医師体制にも高齢化の波が寄せつつありましたが、多くの若手医師の加入によりバランスのよい診療体制になりつつあります。1年間眼科手術を休止しておりご迷惑をおかけしましたが、5月より白内障手術等を再開しておりますのでご利用ください。また若手整形外科医の加入によりより迅速な手術対応が可能となりました。若い医師の加入によりますます活気ある診療部になると期待しております。

回復期、地域包括ケア病棟は、おかげさまで内外から高い評価をいただいておりますが、今後も診療報酬における最上位レベルを維持し、患者さんの在宅復帰に向けて頑張っております。在宅医療もご利用者様は増加の一途ですが、若手医師にも加入していただき、幅広く対応してまいります。

今春は事務長、看護部長が交代となり、さらに20数名の新入職員を向かえ、病院全体として、さらに上記以外の各部署でも心機一転、地域の医療、介護に貢献してまいり所存でありますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。



新任医師のご紹介



内科
幡中 雅行 医師

本年4月より内科に赴任致しました幡中雅行です。山口大学医学部附属病院糖尿病・内分泌代謝内科に約15年間勤務しておりました。大学では糖尿病を専門に臨床と研究の双方に従事しておりました。

妻が神奈川県出身であることからご縁を頂き、この度山口県から引っ越しして参りました。今後は臨床医として地域に貢献できる人間に成長できるよう、精進して参りたいと存じます。ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、最善を尽くしますので何卒よろしくお願い申し上げます。



眼科
伊藤 浩幸 医師

本年4月より眼科に赴任しました伊藤浩幸と申します。こちらに赴任する前は東邦大学医療センター大橋病院眼科で6年間勤務しておりました。白内障、緑内障、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症などの一般診療に加え、手術として主に白内障や注射、外眼部手術、レーザー治療などを行ってまいりました。その経験を生かして、皆様の眼の健康を保つためのお手伝いできればと思います。

また、当院では対応が難しいような重傷な、もしくは緊急対応が必要な眼疾患につきましても専門性の高い他病院へご紹介させて頂くなど、患者様の利益を考えた丁寧な対応を心がけていこうと考えております。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科
鈴木 智士 医師

平成30年5月より整形外科に赴任しました鈴木智士と申します。長野県の出身で、大学入学時から横浜にやってきました。横浜市立大学を卒業し、済生会横浜市南部病院で初期研修を終え、横浜市立大学整形外科に入局し平塚共済病院、横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院、関東労災病院と主に急性期病院に勤務してまいりました。

このたび大学医局から出て、縁あって西横浜国際総合病院に常勤医として勤めさせていただくこととなりました。骨折や脱臼、腱断裂など外傷の手術はもちろんのこと、変性疾患や関節リウマチの診療なども行ってまいります。地域や病院に貢献できるよう尽力いたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。



新任執行部紹介



常務理事
町田 公人

本年4月1日より常務理事を拝命しました町田公人です。桜花爛漫の候、当院も新入職員24名を迎えました。新鮮で真剣な若い人の姿は、不安と希望を胸に社会人となった33年前の自分を思い起こし、気持ちを新たに良い刺激を与えてくれます。

私自身、医療業界に身を置いて3年ですが、足許では超高齢化の進展、膨張する医療費とその抑制の動き、働き方改革の波等を受けて非情に厳しい環境にあります。しかし、地域の信頼を大切に、安心・安全の医療を提供する使命に変わりはないと思います。初心忘るべからずと言いますが、「安心・安全の医療～患者様と共に～」の理念を実現すべく、私自身も職員の一員として努力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



事務長
伊藤 克也

2018年4月1日付けで事務長に就任致しました伊藤克也と申します。

当院も9月1日をもちまして設立30周年を迎える事になりました。この節目の年に事務長を仰せつかり、今まで以上に地域住民の方、企業の方々に愛される病院にしなければならぬという強い思いで日々過ごしております。そのために、「より信頼される事」、「より気軽に足を運んで頂く事」を主にし、安定した病院運営と情報発信をし続けたいと考えております。

そして横浜市戸塚区汲沢町と言うこの土地で30年間も医療サービスを提供してきた重みを感じながら、「急性期から在宅まで切れ目のないサービスを提供する」というビジョンの充実を図っていく所存でございます。ご指導どうぞよろしくお願い致します。



看護部長
小野塚 薫

平成30年4月1日から看護部長に就任いたしました。当院は今年の9月1日で開設30周年となります。その節目の年にこの職責をいただき大変感慨深く、これからの新たな未来に向け身が引き締まる思いです。

30年という長い歴史の中で地域の皆様と共に歩んできた当院が、これからも皆様の健康を支え、共にあり続けるために大切なことは、『安全・安心・信頼』の医療の提供です。そのためには、医療チームの中の大きな集団である看護部の職員が、患者様の願いや思いを尊重した『患者様ファースト』の意識を強く持つことが重要であると考えています。そして患者様と相互的なより良い関係性が保てるよう、丁寧で思いやりが伝わるケアを常にめざしていきたいと思っております。

外来や入院など日々の関わりの中でお感じになることがございましたら、いつでもお気軽にお声掛けくださいますよう宜しくお願いいたします。その都度振り返り、皆様にとって、より良い関わりになるよう努めてまいります。

MRI 機器入れ替えのご案内

5月17日より、当院のMRIをバージョンアップしています (GE 社製・SIGNA Explorer・1.5 テスラ)。マグネット本体は信頼が置けるGE 社製であり、撮影機器等のハードウェアを始め、システムソフトウェアなどを一新し、最新のものとなりました。

検査を受ける皆様やご依頼元の医療機関様にとって大きく利便性が向上しておりますので、ぜひ利用をご検討ください。

MRI 機器入れ替えに伴う主な改善点

1 MRI 検査時の音が静かになりました

従来のMRIでは工事現場やバイクと同程度の音 (100dB) の中で検査を受けなければなりませんでした。今回バージョンアップした装置には消音・静音化技術が搭載されており、特に頭部領域においては時計の音 (20dB) より小さい音で検査が可能です。

※撮影部位や撮影方法によっては、従来と同じような音が出ます。

従来のMRI

90-100dB
極めてうるさい
(工事やバイクの
騒音並み)

新しいMRI

0-20dB
極めて静か
(時計の秒針並み)

2 MRI 検査時の時間が短くなりました

従来に比べ、検査時間が短くなりました。例えば脳MRIは撮影時間が従来の約半分となります。

例：脳MRI撮影

従来のMRI

約30分

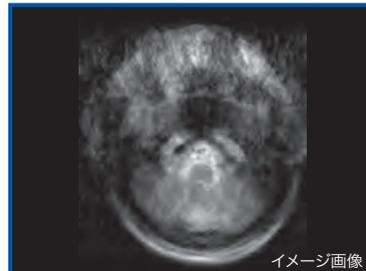
新しいMRI

約15分

3 MRI 検査時の患者様の「動き」に強くなりました

MRI 検査時の患者様の「動き」に強くなったことにより、お年寄りや小さなお子様等、MRI 撮影時に動きを止めることが難しい患者様の頭部検査や、呼吸停止が困難な患者様の腹部検査が可能となりました。

(PROPELLER (プロペラ) 3.0)

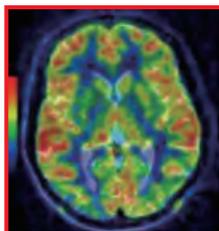


従来のMRIで
患者様の体動が激しい場合



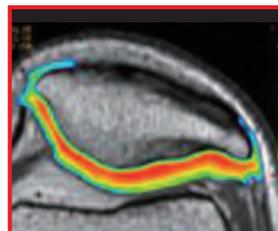
新しいMRIで
体動補正を行った場合

※その他にも、従来できなかった検査や、従来よりも高画質な画像を提供できるようになります。



ASL

造影剤を使用しないで
脳血流の評価が可能



T2map

カラーで関節軟骨の
評価が可能

検査のご依頼・お問い合わせは

西横浜国際総合病院 地域医療連携室 **045-871-5225** までお願いいたします

マンモグラフィ(乳房X線撮影装置)を更新しました

当院は、この度マンモグラフィを更新し、よりよい環境で検査を受けていただけるようになりました。



マンモグラフィ更新のメリット

デジタル装置になり、従来より高精細で鮮明な画像が撮影できます。

被ばく線量を抑えた撮影ができるようになりました。

検査時間が短くなり、お待たせする時間が減りました。

緑と木目を基調とした綺麗な部屋にリニューアルしました。

撮影は
もちろん
女性技師が
行います!



「乳がん」を他人事とおもっていませんか?

乳がんは、いまや女性の11人に1人が患ってしまう病気で、女性の罹患する“がん”のトップです。そして、この乳がんを早期発見するのに最も有効な画像診断がマンモグラフィなのです。検査時に乳房を適正に圧迫することにより、隠れている腫瘍の発見や被ばく線量の低減など、さまざまな利点があります。どうしても「痛そう」というイメージを抱いてしまいがちですが、当院では柔らかい圧迫板を使用し痛みを配慮しておりますので、実際に受診した方の9割以上が「思ったほどではない、我慢できる痛みだった」とおっしゃっています。40歳以上の方は、2年に一度は必ず受けるようにしましょう!

女性の健康

Q & A



隠れ貧血

健診でヘモグロビンの値に異常はないのに、疲れやすい人は、“隠れ貧血”かもしれません。
“隠れ貧血”は、体内に貯蔵されている鉄が不足して貧血が進行している状態です。

Q 貧血の症状と原因は?

貧血になると、たちくらみやめまい、息切れ、疲れやすさ、だるさなどの症状が出ます。これは、酸素を全身に運ぶ働きをする血液中のヘモグロビンが不足して、体が酸欠状態になることが原因です。

とくに女性は、月経により貧血になりやすく、約6人に1人が貧血の疑いがある※といわれています。

※平成23年国民健康・栄養調査(厚生労働省)

Q “隠れ貧血”ってなに?

ヘモグロビンの値に異常がなくても貧血の症状がある場合は、“隠れ貧血”が疑われます。

“隠れ貧血”とは、肝臓などの臓器にあるフェリチンというタンパク質が少ない状態をいいます。フェリチンは、体内の鉄のうち約3割を貯蔵しており、血液中の鉄分が不足すると、ヘモグロビンより前にその貯蔵鉄を使って血液中の鉄分量を維持する働きをします。

Q “隠れ貧血”改善のためにどうしたらよい?

ヘモグロビンの値が正常であっても貧血の症状がある場合は、医師にその旨を伝えてフェリチン値の検査をしてもらうとよいでしょう。

食生活の改善も大切です。鉄分が多く含まれる食品を積極的に摂りましょう。肉や魚などの動物性食品に含まれる鉄分の方が体に吸収されやすく効率的に鉄分を摂ることができます。

鉄分の多い食品

レバー、牛肉の赤身、しじみ、あさり、かつお、いわし、ほうれん草、小松菜、納豆など

貧血の症状が強い人は、医師の指導のもとで鉄剤を服用することで改善できます。また、過多月経で経血量が多い場合は婦人科できちんと治療しましょう。

なお、食事制限をすると栄養のバランスがくずれて鉄分不足になりやすいので、無理なダイエットはやめましょう。

転ばぬ先の シニアの心がけ

「100年生きる」ことを前提にして、ライフプランを考えなければならない今の時代。老後資金や人とのつながりよりも大切になってくるのが「健康」です。なるべく長くいきいきと暮らすために、今できることは何でしょうか？



転倒が寝たきりのきっかけに

救急搬送された高齢者のケガの原因の第一位は転倒で、約81%にものぼります*。高齢者の骨折（とくに大腿骨の骨折）は要介護や寝たきりにつながりやすく、生活の質（QOL）が大きく低下してしまいますから、日頃から転倒予防を心がけることが重要です。

*東京消防庁「救急搬送データからみる高齢者の事故」(平成28年)

転倒しやすいのはこんな人

- **過去1年間に転んだことがある人**
過去1年間に転んだことがある人は、その後1年間に再び転ぶリスクが約5倍。
- **歩くのが遅くなってきた人**
加齢や活動量の低下で足腰が弱まっている可能性があります。
- **杖を使っている人**
バランス力や筋力が低下していると考えられます。弱った足の反対側に杖をつきましょう。
- **背中が丸くなってきた人**
背中が丸くなると姿勢やバランスが崩れ、転倒しやすくなります。
- **毎日5種類以上の薬を飲んでいる人**
高齢者は薬による副作用が起こりやすく、多数の薬を服用していると、めまいやふらつきで転倒することがあります。「いつもと違う」と感じたときは、医師・薬剤師に相談をしましょう。



転倒の多くは 自宅で起きている

高齢者の転倒の半数以上は自宅で起こっています。家の中での転倒を防ぐために、物を出しっ放しにしない、台にのぼる必要のある高いところに物を置かないなどを心がけましょう。また、庭やご近所でも、サンダルではなく足の甲とかかとを包む靴をはくことが大切です。



「転ばない」「骨折しない」 からだづくりを

どんな人でも加齢とともに筋力やバランス機能は衰え、転倒しやすくなります。身体機能を維持して転倒に強いからだをつくるには、毎日の運動が欠かせません。歩く・またぐ・のぼる・降りるといった動作を、しっかり意識しながら行いましょう。また、白内障など視力に問題のある場合は早めに治療を受けましょう。

自宅で気をつけたい ポイント

コード類を整理する

電気コードなどは部屋のすみや床に固定する。

マットやカーペットを固定する

滑り止めテープなどで固定する。

足元の灯りをつける

夜間の廊下などは足元が見えにくいので、センサー付きライトなどをつける。

手すりをつける

階段やトイレなど、のぼり降りや立ち座りの動作をする場所につける。
※改修には介護保険が利用できる場合があります。

和式から洋式の生活様式へ

和式の生活様式は、膝に大きな負担をかけたり、転倒の原因になります。

生活動線には何も置かない

日頃から移動の妨げになっているものは配置を見直す。

ケアプランセンター にしよこはま

私たちは地域と本気でつながる「介護の応援団」です！

皆さんが住みなれた地域で暮らし続けるために、医療と介護サービスを継ぎ目なく利用できるよう支援します。

ご利用者を中心に多職種で協働



介護サービス利用までの流れ

- 1 ケアマネジャーが介護に関する相談を受け、要介護認定の申請をお手伝いいたします。ご希望があれば当院でも代行申請いたします。
- 2 自宅や入院先に認定調査員が訪問しますので、聞き取り調査を受けてください。
※1～2か月でご自宅に介護保険証が届き、要介護度がわかります。
- 3 担当ケアマネジャーが介護サービスを受けられるようケアプランを作成し連絡調整を行います。担当ケアマネジャーを決めた後、利用サービスや日程の相談をしてください。
※ケアマネジャーへの相談は無料です。

Q&A

Q 「ケアプランセンターにしよこはま」ってどんな事業所ですか？

A 経験豊かな主任ケアマネジャー 5 名を含め、8 名のケアマネジャーが在籍しています。病院内に事務所があり、介護保険の勉強のみならず、日常的に医療知識についても学んでいます。

Q 何時から何時まで連絡がつきますか？ 緊急連絡はどうしたらよいですか？

A 営業時間は日曜・祝祭日・年末年始を除く 9 時～17 時です。電話やFAX、電子メールで対応しています。なお、緊急連絡を要する場合には病院の交換電話を通じて 24 時間対応しております。

Q 現在入院中ですが、退院後の生活や病気の悪化などいろいろと不安です…。

A 当院のケアマネジャーは、ご利用者の入院中から病室へうかがい、退院に向けた準備を進めます。必要に応じて病院スタッフとご自宅を訪問し、一緒に生活上の課題を考えます。

Q 病院なので重度の人しか受けられないと聞きましたが…。

A そんな事はありません。要介護の方だけでなく、要支援の方も含め、全てのご利用者の要望にお応えします。
※要支援の場合、担当の地域ケアプラザ（地域包括支援センター）と連携します。

Q 医師からはリハビリや栄養管理が必要と言われましたが…。

A 当院には医師・看護師をはじめリハビリスタッフや管理栄養士、介護職など様々な分野の専門職がいます。必要に応じて助言を求め、連携し、日々の生活を安心して送れるよう支援いたします。

Q 主治医は近所のクリニックですが、それでもケアマネジャーをお願いできますか？

A もちろんお受けできます。ケアマネジャーは公正中立な立場で、ご利用者の意向に沿って他の医療機関や介護サービス事業所とも連絡をとりあっています。

Q 病院では他にどんな介護サービスがありますか？

A 当院では訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリ・訪問介護・福祉用具貸与・住宅改修等の介護サービスを行っています。ご希望であればご紹介いたします。

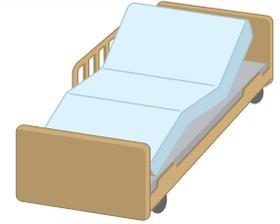


西横浜国際総合病院 ケアプランセンターにしよこはま (当院3階6番窓口) TEL 045-871-2540

その他疑問がございましたら、お気軽に私たちにお問い合わせください！

ケア・フレンズ横浜

各種送迎、福祉用具・住宅改修、訪問介護



ケア・フレンズ横浜は、当法人が開設する介護保険サービス事業所で、上記サービス全般を実施しております。事務所は病院西側の隣接地にあり、計15名程のスタッフが在籍しています。

医療や介護が必要な方々に対し、より身近で使いやすく、安心してご利用いただけるサービスの提供をしています。また、病院付属の事業所なので、必要に応じて院内の医療スタッフからのアドバイスを受け、医療面にも柔軟に対応し、当院ビジョンにもある「シームレスな医療」を介護的な側面から実現できるよう努力しています。



主なサービス概要を以下にご紹介します。

各種送迎事業

当院は丘陵地にあるため付近には急坂があり、お足の不自由な方にご来院いただく際には大変ご不便をおかけしております。そこで、昨年7月より当院ご利用者のために「無料送迎バス」の運行を開始しており、当部署がその運転業務を主に担っています。介護保険の要介護認定を受けたご利用者の送迎では、介護資格を有するスタッフが、確かな技術と経験を生かして安全に送迎をさせていただいております。

なお、送迎に携わるスタッフは、ご利用者の安全かつ快適な送迎を確実に実施すると共に、走行中や乗降の際にも笑顔での声かけや気遣いを忘れないよう心がけています。

福祉用具レンタル・販売・住宅改修

レンタルは、必要性に応じて車いすや歩行器、置き型手すりなど実物のお試しができます。カタログ上ではわからない質感や大きさ、使用する環境に適するのかななどをじっくりとお考えいただけます。また、同じ種類の複数の物をご案内し、ご利用者に選択していただけるよう専門相談員が丁寧な対応を心がけています。状況により院内医療スタッフやフィッティングの専門家からの助言を受け、快適にお使いいただける福祉用具を一緒にお探しします。

他にも、手すりの取り付けや段差の解消など、安全で快適に住み続けるための住宅改修に関する相談や施工、紙おむつやケアシューズ他、さまざまな介護用品を扱っております。

ケア・フレンズ横浜スタッフ一同は、常にご利用者・ご家族に寄り添い、皆様が住みなれた地域で末永く笑顔で生活を続けられる一助となれるよう頑張っております。



ケア・フレンズ横浜

住所 横浜市戸塚区汲沢町60-9
西横浜国際総合病院 にし分室内
TEL 045-865-1707
FAX 045-865-0144

ケア・フレンズ横浜スタッフ

管理者	1名
送迎スタッフ	11名 (うちケアドライバー6名)
訪問介護	1名
福祉用具担当	2名
事務担当	2名

当院では急性期から在宅まで幅広いリハビリテーションを在宅医療センターの在宅リハビリ部門では専属スタッフに

通所リハビリのご案内

通所リハビリは「デイケア」とも言われる介護保険を利用したサービスの1つです。病気や障害により、ご自宅での日常生活動作や外出などに不安を感じている方に、筋力やバランス能力などの維持・向上をはかり、生活が安定するように支援します。

通所リハビリに通うことで外出機会をもつことは、自宅内での閉じこもり予防だけでなく、地域社会への広がりへと繋がります。なお、当院では車いす対応の送迎車で玄関口までの送り迎えを行っています。家の出入りが不安な方もご相談ください。

当院デイケアの特徴

- 1 通所スペースは、病院内の一角で1階の出入りしやすい場所にあります。医師が常駐し、必要時には迅速に対応でき、安心してサービスを受けられます。特に当院でのかかりつけの場合は、状態をすぐに確認し対応することができ、また通所リハビリの利用日以外にも、定期受診の日に合わせてご利用いただくことも可能です。
- 2 専属スタッフが日々の身体の状態や生活能力の確認を行い、歩行やトイレ動作の練習、介助指導などその方の生活上の課題解決の支援をします。また、ご自宅内・周辺の環境に応じて、階段や坂道、不整地を移動する練習も積極的に進めています。
※入浴のサービスは実施しておりません。

通所リハビリテーションの1日の流れ

当院では6時間～7時間のサービス提供時間で利用いただいています。

- 8:30～ 9:30 送迎車でご自宅へお迎え
- 9:30～ 10:00 体調チェック：
体温・血圧・脈などのチェック
- 10:00～ リハビリ、マシントレーニングや運動など
- 11:30～ 集団体操
- 12:00 昼食
- 13:00～ リハビリ、マシントレーニングや運動など
- 14:30～ 集団体操
- 15:00 おやつ
- 15:30～ デイケアから送迎車でご自宅へお送り

レッドコードと呼ばれるリハビリ器具を用いて、姿勢を良くする運動をしています



片手で食材を切る練習をしています



口腔ケアを大切にしています



皆様にやりがいを持って前向きにご利用できるような
雰囲気作りを心掛けております。
興味のある方はぜひ一度当院デイケアまでお越しください！

スタッフ一同心よりお待ちしております！

行っています。
よる「訪問リハビリ」「通所リハビリ」を提供しています。

訪問リハビリのご案内

私たちに
お任せください

訪問リハビリ担当者は、病院で急性期・回復期リハビリの経験を積んだ療法士です。ご利用者が、病気をした直後からどのような経過をたどって現在の生活に至ったか、これからどのような生活を目指していくかを共に考えていけると自負しています。

戸塚区・泉区の地域にも詳しく、ご利用者が望む自宅での生活をともに考え、精一杯支援していきます。



訪問リハビリとは？

訪問リハビリは、療法士がご自宅へ伺い、必要な動作練習、自主練習の提案、生活環境の調整、介助指導などを行います。通院が難しい身体状態である場合のほか、実生活の場で様々な支援を行うことで、より日常に直結した生活動作の獲得を目指すことができます。

いつも使っているベッドからの起き上がりや立ち上がり、トイレへの出入りなど、より実践的な練習を繰り返すことで、ご自宅で「する・したい生活」の充実を図ることができます。

私たちが提供するサービス（一例）



ご家族

車いすに座らせてあげたいけど、ずり落ちてしまうので目が離せないんです。

背もたれの角度調節のみができる車いすを使用されていますが、体格が大きく、腰の位置や足の位置も含め、座る姿勢が安定していません。座位が安定するように、体格に合った背もたれ以外に座面の角度調節も可能な車いすに替えてみましょう。



作業療法士



ご利用者

ベイスターズの試合を見に行けるようになりたい！

まずは家の外をしっかりと歩けるように練習しましょう。今は家の中の歩きを中心ですので運動量を上げていく必要があります。まずは、家の周りを何度も歩いて不安をなくし、階段練習も同時に進めましょう。次にバスや電車に乗って乗り降りの練習を行い、慣れてきたら横浜スタジアムまで実際に行ってみましょう。人混みでも自信を持って歩けるように、奥様と一緒に人混みに出かける練習もしていきませんか。

（後日談）

7ヶ月間練習を行い、昨年実際に横浜スタジアムでベイスターズの試合を観戦されました。今年も行こうと計画中です。



理学療法士

ご利用できる方は、介護保険で要支援1～2または要介護1～5の認定を受けている方で、
当院（外来・在宅診療）にかかりつけ医がいらっしゃる方となります。
何か疑問があれば、お気軽にご相談ください。

病院ビジョン

1. 急性期から在宅まで、シームレスなサービスの提供により地域へ貢献する
2. 患者・利用者・家族に積極的に関与し、個別のニーズを追求する
3. やりがいと喜びを育み、全職員参加型の活気あふれる組織を構築する

患者様の権利と患者様へのお願い

病気の治療は、医療を受ける側と提供する側の共同作業です。お互いの理解と信頼のために以下のことをご確認ください。

- 1. 良質な医療を受ける権利** 全ての患者様は、健康保険法で認められた、良質で最善の医療を公平に継続して受ける権利があります。また、必要な時にはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利を有します。
- 2. 適切な説明を受ける権利** 治療や症状について真実を知り担当医師や受け持ち看護師より、納得が出来るまで説明を受ける権利があります。その説明に対して納得がいかない場合は他の医師の対診やセカンドオピニオンを受ける権利があります。
- 3. 選択の自由の権利** 病院や医師を自由に選択し、十分な説明を受け、意見を述べ、治療方針を自らの意思で選択し、治療を受ける権利と治療を受けることを拒否する権利があります。
- 4. 個人情報や秘密が守られる権利** 診療や治療で医師や従事者が知りえた患者情報、全てのプライバシーの機密が守られる権利があります。患者本人の承諾なくして、第三者に開示されない権利があります。
- 5. 個人の尊厳が尊重される権利** 患者様は、自ら病を克服しようとする主体として、医療の場において、常にその生命・身体・人格が尊重される権利があります。また、出来る限り尊厳を保ち、安楽に人間的な終末期を迎えるためのあらゆる可能な助力を受ける権利があります。
- 6. 情報開示の権利** 所定の手続きを経ることによって、ご自身の診療録の開示を求めることが出来ます。
- 7. 情報を提供する責務** 医師をはじめとする医療提供者に対して、自身の健康に関する情報を出来る限り正確に提供する責務があります。
- 8. 医療に協力する責務** 全ての患者様が等しく患者の権利を行使するためにも、病院の規則を守り、提供される医療に協力する責任と、他の患者様の治療に支障を与えないよう配慮する責務があります。
- 9. 理解しようとする義務** 納得できるまで質問をしたり、ご家族や親しい知人などに同席してもらい一緒に説明を聞くなど、自らの疾病や医療について十分理解しようと努めてください。

職業倫理

西横浜国際総合病院の職員は、医療人としてその職責の重大性を認識し、すべての職員が病院理念および基本方針に基づき、意欲と誇りを持ってその使命を果たすことを目的として次の通り職業倫理に関する指針を定めます。

1. 医療サービスの質の向上を図るため、確かな知識の習得と技術の研鑽に努めるとともに、良識ある職業人として教養と品性を高め、資質の向上に努めます。
2. 医療の公共性を重んじ、地域社会へ貢献するとともに法規範の遵守に努めます。
3. 患者様の人権を尊重し、良心をもって、平等に接し、十分な説明と同意に基づく適正かつ公正な医療の遂行に努めます。
4. 患者様の信頼を得るために、医療内容やその他必要事項について十分な説明を行います。
5. 患者様のプライバシーを尊重し、職務上知り得た情報の守秘義務を遵守します。
6. 職員は互いに尊敬し理解し合い良き協力関係を築き、連携してチーム医療の実践に努めます。

■ 診療受付時間 平日・土曜とも 午前 7:30 ~ 11:30
平日のみ 午後 0:00 ~ 4:30

■ 診療開始時間 午前 9:00 ~ 午後 1:30 ~ (平日のみ)

■ 診療科目 内科(一般・腎臓・呼吸器・循環器)・外科消化器科・乳腺甲状腺外科・耳鼻咽喉科・整形外科・泌尿器科・神経内科・眼科・脳神経外科・精神神経科・麻酔科・リハビリテーション科



日本医療機能評価機構



(財)日本医療機能評価機構認定病院 Ver.6認定第GA220-3号

医療法人
横浜博萌会

西横浜国際総合病院

〒245-8560

横浜市戸塚区汲沢町56

TEL.(045)871-8855

http://www.nishiyokohama.or.jp

